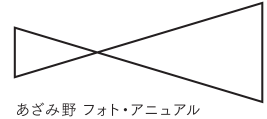


あざみ野フォト・アニュアル 2025



あざみ野 フォト・アニュアル

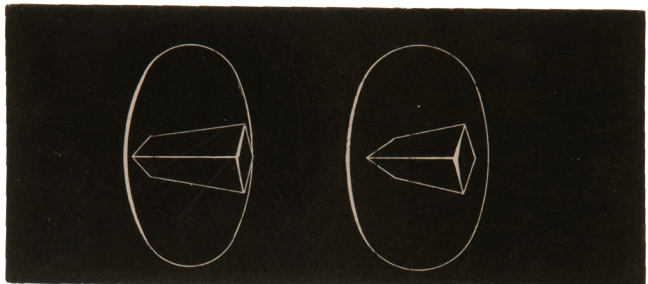
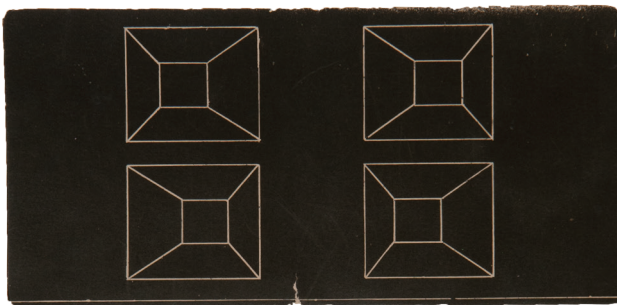
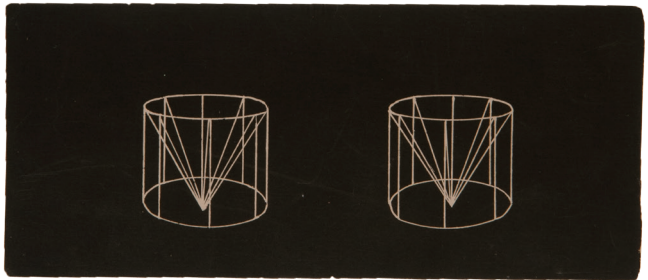
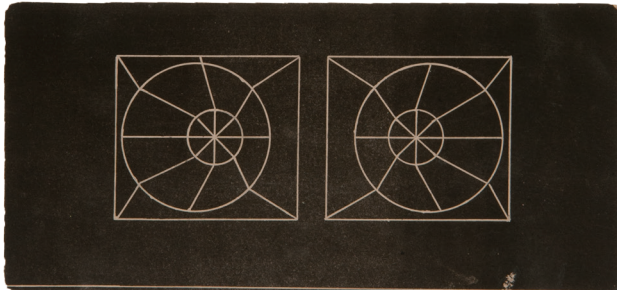
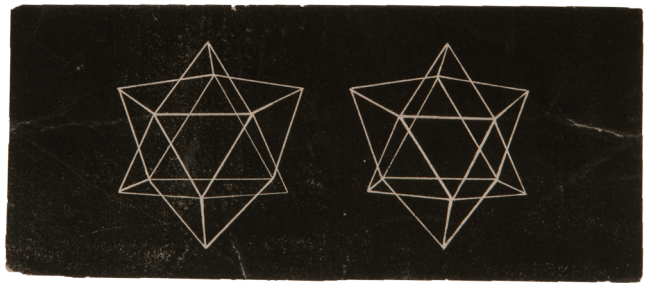
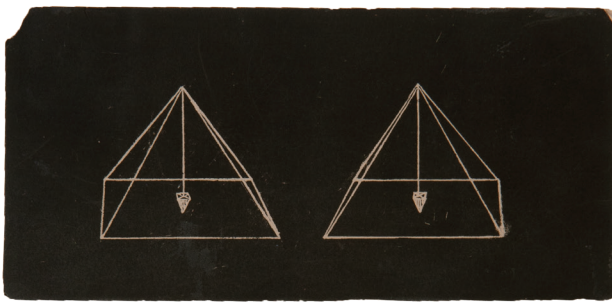
横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展

眼の技法 色・空間・動きのイメージ

Azamino Photo Annual 2025

Visual Methodologies: Seeing Color, Space, and Motion

▶ 2025年1月25日[土] - 2月23日[日・祝]



ステレオカード / 制作者・制作年不詳 / 版画

横浜市民ギャラリーあざみ野

Yokohama Civic Art Gallery Azamino

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3

アートフォーラムあざみ野内

展覧会担当：日比谷 広報：丸山

TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674

<https://artazamino.jp/> info@artazamino.jp

一人の視覚への探求と、写真・映像技術の進化の関係性に迫る

横浜市民ギャラリーあざみ野のシリーズ展「あざみ野フォト・アニュアル」では、写真表現の現在を切りとる企画展と横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展を同時開催しています。今年度のコレクション展は「眼の技法」と題し、収蔵する写真、映像関連資料をご紹介します。

人の眼がどのような原理に基づきものを見ているかは、古くから人々の関心の対象となってきました。特に写真が生まれた19世紀は、人の眼が色彩を感知するしくみや、立体や動きをどう認識しているかなど、視覚に関する様々な研究が進んだ時代です。

これらの研究は、1839年に写真術が発表されると、撮影装置やそこから生み出されるイメージ、鑑賞装置の開発に結びついていきます。映画やカラー写真術など、実用化されるまでに長い時間がかかったものもありますが、写真技術が発展するにつれ、色・空間・動きを再現する様々な技法に結実し、新たなものの見え方を獲得していきます。本展では、収蔵品のカラー写真、立体視、映像技術に関連するカメラ・写真・観賞装置・その他関連資料を通じて、人の視覚と写真・映像技術の関係性とその展開を探ります。

主な出品資料



カメラ・オブスクラ／製作者不詳／1790年頃

写真が生まれる以前に風景の観察などに用いられ、カメラの前身となった光学装置



(女性像)／キルバーン／1850年代／ダゲレオタイプ、彩色、ステレオ写真

写真史初期の3D写真



馬のギャロップ／イードウィアード・マイブリッジ／1887年頃

映画が発明される以前に馬の動態をとらえた連続写真



(ミシンをかける女性)／製作者不詳／1910年代／オートクローム、ステレオ写真

映画の発明で知られるリュミエール兄弟が開発した最初期のカラー写真技術

展覧会概要

展覧会名	あざみ野フォト・アニュアル 2025 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 眼の技法 色・空間・動きのイメージ
会期	2025年1月25日[土] - 2月26日[日・祝] 29日間 ※1月27日(月) 休館
開場時間	10:00 - 18:00
料金	入場無料
会場	横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室2
主催	横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
協力	城西国際大学メディア学部

【同時開催】 川崎祐 わたしの知らない場所の名前(展示室1)



シネコダック・モデルK (レオポルド・マンネス使用)
ノースマン・コダック・カンパニー/1930年



コダクローム スライド
ノースマン・コダック・カンパニー、レオポルド・マンネス、レオポルド・ゴドウスキー/1936年

世界初の実用的なカラーフィルム、コダクロームを発明した
ゴドウスキー&マンネスに関連する貴重な資料

[横浜市所蔵カメラ・写真コレクションとは]

横浜は日本における写真発祥の地の一つとして、近代日本の写真映像文化の発展に大きく貢献したと言われています。横浜ではこうした歴史を踏まえ、アメリカのサーマン・F・ネイラー氏が40年にわたって世界各地から収集したカメラ、写真、写真関連アクセサリー、資料及び文献のコレクション約1万件を平成5・6年度に取得しました。横浜市民ギャラリーあざみ野は本コレクションを収蔵し、保存・活用事業を行っています。

関連イベント

ワークショップ「立体(ステレオ)写真を撮ってみよう」

人の眼が左右の視差で空間を認識する原理を利用し、少し異なった位置から撮影した2枚の写真を専用のビューワで立体的に見る「立体(ステレオ)写真」を撮影します。レクチャーと簡易ビューワ制作の後、コンパクトカメラで様々な対象を撮影し、現実の空間がどのように立体写真に変換されるか試します。

日時：2月11日(火・祝) 10:30～15:00
講師：橋本典久(アーティスト)
会場：3階アトリエ
対象・定員：中学生以上15名(要事前申込、先着順)
参加費：3,000円(材料費込)
※12月1日(日)受付開始
・保育あり

コレクション担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2月1日(土) 15:00～15:45
出演：日比谷安希子(担当学芸員)
会場：展示室2
参加無料・申込不要

あざみ野カレッジ「幻燈とプロジェクションのイメージ」

幻燈は、暗い部屋でランプなどの光を光源に、ガラス板に描いた絵をレンズで拡大して投影するもので、古くは17世紀のヨーロッパの書物に関連する記述がみとめられます。19世紀に写真が発明されると写真を使用した幻燈用スライドが作られるようになり、その内容や用途は広がっていきます。本講座では、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを通じて、幻燈とプロジェクションのイメージの変遷をたどります。

日時：2月8日(土) 14:00～16:00
講師：日比谷安希子(担当学芸員)
会場：3階アトリエ
定員：40名程度(要事前申込、先着順)
参加無料
・保育あり

関連イベント申込方法やその他詳細は当館ホームページなどで最新情報をご確認ください。

会場・お問合せ

横浜市民ギャラリーあざみ野
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
展覧会担当：日比谷 広報担当：丸山
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
アートフォーラムあざみ野 内
TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674
<https://artazamino.jp/> info@artazamino.jp

交通のご案内

東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分
駐車場27台(有料)

